

**お客さま本位の業務運営への取組状況**  
**～ 資産形成及び資産運用 ～**  
**(令和2年度)**

---

**令和3年6月**

## 1. 最適な金融商品の提供

- お客さまの多様なニーズにお応えできるよう、各種商品の特性・リスク・手数料等を十分把握したうえで、お客さまの資産形成に資する商品を選定し、金融商品ラインアップの充実に努めました。
  - 新たなラインアップとして、投資信託については、2商品の取扱いを開始し、合計67商品となりました。生命保険については、7商品の取扱いを開始し、合計34商品となりました。
  - お客さまの中長期的な資産形成に配慮した提案を積極的に行い、お客さまのニーズやライフプランに応じた金融商品の販売に努め、令和2年度の投資信託の販売額は232億円(投資信託のうち毎月分配型以外の商品の販売比率86%)、生命保険の販売額は97億円、令和3年3月末における預り資産残高は、1,123億円となりました。
- 当行は、引き続き、お客さまのニーズにお応えできる最適な商品のご提供に努めてまいります。

### (1) 商品ラインアップの充実

#### ① 投資信託ラインアップ(令和3年3月末)

カテゴリ	取扱商品数	取扱商品比率
国内債券	2	2%
国内株式	12	17%
海外債券	17	25%
海外株式	21	31%
REIT	9	13%
バランス型	5	7%
その他	1	1%
合計	67	100%
うちノーロード商品	16	23%
うち毎月分配型商品	28	41%

※取扱商品は、インターネットバンキング購入及び定時定額購入の専用商品を含み、単位型商品を含んでおりません。

※バランス型とは、国内外の債券・株式、REIT(不動産投資信託)等を組み合わせて運用する投資信託のことです。

※ノーロード商品とは、購入時の販売手数料が無料の投資信託のことをいいます。

#### ② 生命保険ラインアップ(令和3年3月末)

##### <一時払い>

商品種類	取扱商品数	取扱商品比率
円建	10	50%
変額年金保険	1	5%
定額年金保険	1	5%
終身保険	8	40%
外貨建	10	50%
変額年金保険	0	0%
定額年金保険	2	10%
終身保険	8	40%
養老保険	0	0%
合計	20	100%

##### <平準払い>

商品種類	取扱商品数	取扱商品比率
終身保険	2	14%
定期保険	3	21%
医療・がん保険	6	42%
就業不能保障保険	0	0%
学資保険	1	7%
年金・養老保険	2	14%
合計	14	100%

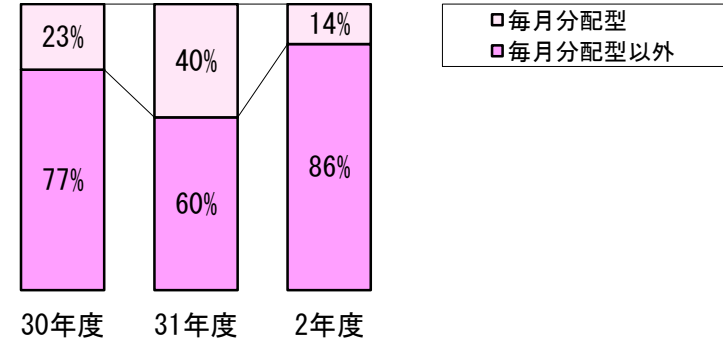
✓ 令和元年12月以前の各計数につきましては、合併前の旧徳島銀行と旧大正銀行の実績を合算し、徳島大正銀行の実績として算出しています。

## (2) 投資信託販売状況及び預り資産残高推移

### ① 投資信託販売に占める毎月分配型以外の商品の販売額と販売比率

(単位: 百万円)

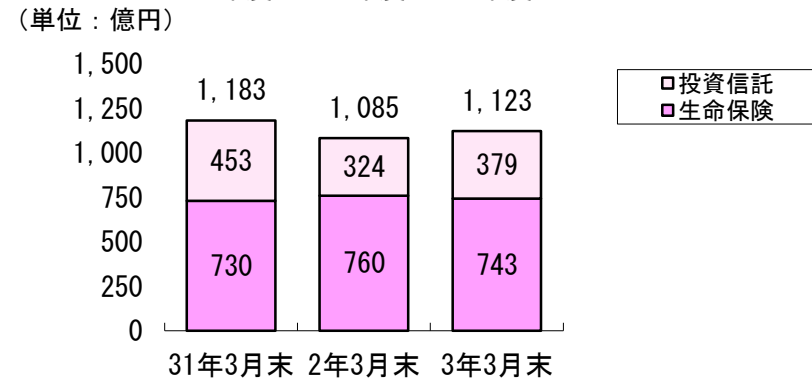
	30年度	31年度	2年度
販売額	13,369	15,719	23,223
うち毎月分配型以外	10,403	9,473	20,165
毎月分配型以外の商品の販売比率	77%	60%	86%



### ② 預り資産の残高推移

(単位: 億円)

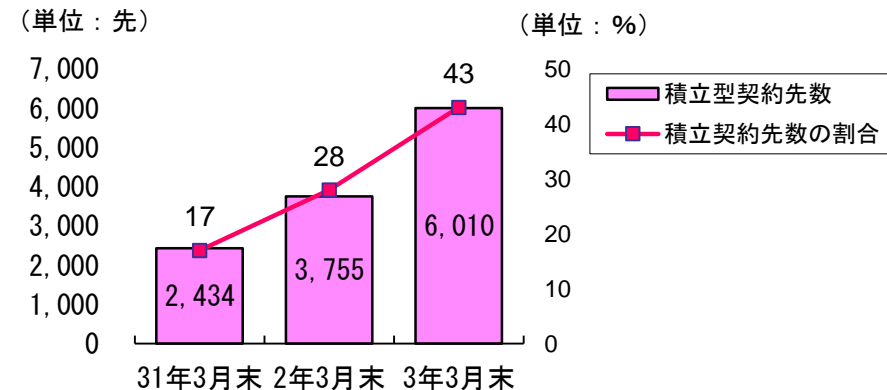
	31年3月末	2年3月末	3年3月末
投資信託	453	324	379
生命保険	730	760	743
合計	1,183	1,085	1,123



### ③ 投資信託積立型契約先数及び割合

(単位: 先)

	31年3月末	2年3月末	3年3月末
投資信託全保有先数	13,650	13,118	13,884
うち積立型契約先数	2,434	3,755	6,010
積立型契約先数の割合	17%	28%	43%



✓ 令和元年12月以前の各計数につきましては、合併前の旧徳島銀行と旧大正銀行の実績を合算し、徳島大正銀行の実績として算出しています。

## ④投資信託販売額上位10銘柄

[令和2度上期]

順位	銘柄名	カテゴリ	毎月分配型
1	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	海外株式	
2	投資のソムリエ	バランス	
3	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	海外REIT	○
4	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	海外株式	
5	世界eコマース関連株式オープン	海外株式	
6	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	海外株式	
7	JPM北米高配当・成長株ファンド(為替ヘッジなし、年2回決算型)	海外株式	
8	【定時定額専用】三井住友・日経225オープン※「投信Net」一括購入可	国内株式	
9	ドルマネーファンド	海外債券	
10	イーストスプリング・インド株式オープン	海外株式	

[令和2度下期]

順位	銘柄名	カテゴリ	毎月分配型
1	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	海外株式	
2	世界eコマース関連株式オープン	海外株式	
3	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	海外株式	
4	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	海外株式	
5	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジなし)	海外REIT	○
6	投資のソムリエ	バランス	
7	【ネット専用】グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	海外株式	
8	【定時定額専用】三井住友・日経225オープン※「投信Net」一括購入可	国内株式	
9	【ネット専用】新世代成長株ファンド	国内株式	
10	ドルマネーファンド	海外債券	

✓ 令和元年12月以前の各計数につきましては、合併前の旧徳島銀行と旧大正銀行の実績を合算し、徳島大正銀行の実績として算出しています。

## 2. 適正な情報提供の実施

- 令和2年度のお客さま向けセミナーにつきましては、新型コロナウイルス感染防止の観点から開催いたしませんでした。
  - 提案する金融商品の特性・リスク・手数料等について、投資経験の少ないお客さまにもわかりやすくかつ丁寧に説明するよう努めるとともに、保有資産の状況や市場動向等の情報提供を通じて、お客さまそれぞれの資産形成の目的に応じた適時適切なアフターフォローに努めました。
  - 商品をご契約いただいたお客さまに対して「満足度に関するアンケート」を実施し、お客さまからの評価、ご意見を基に更なるサービスの向上に努めております。
  - 平成28年10月以降、保険代理店手数料の開示を行うこととし、お客さまの投資判断に資するよう、金融商品販売に係る各種手数料の透明性の向上に努めております。
- 当行は、引き続き、お客さまの金融知識や経験・資産の状況に応じた適正な情報提供に努めてまいります。

### (1) お客さま向けセミナーの開催状況

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
開催回数(回)	146	101	0
参加人数(人)	1,797	1,205	0

### (2) 満足度に関するアンケート結果

質問内容	平成30年度	平成31年度	令和2年度
お客さまのニーズやライフプランに合った商品をご提案できていましたか。	92%	95%	95%
商品の特性・リスク・手数料等について分かりやすく説明できていましたか。	94%	96%	95%
商品説明以外にお客さまに参考となる適正な情報をお伝えできていましたか。	89%	95%	94%

※「満足」「やや満足」を合算した割合

- ✓ 令和元年12月以前の各計数につきましては、合併前の旧徳島銀行と旧大正銀行の実績を合算し、徳島大正銀行の実績として算出しています。

### 3. 業務運営態勢の整備

○役職員に対しお客さま本位の業務運営を周知徹底するとともに、商品知識の習得やコンサルティング能力の向上を目的とした研修を34回開催(参加人数615人)するなど、プロフェッショナル人材の育成に努めました。  
 当行は、引き続き、お客さまへの最良の金融サービスの提供を目指し、プロフェッショナル人材の育成を図るとともに、お客さま本位の業務運営の実践に向けた態勢整備に努めてまいります。

#### (1) 行員向け研修の開催状況

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
開催回数(回)	69	47	34
参加人数(人)	2,293	1,021	615

✓ 令和元年12月以前の各計数につきましては、合併前の旧徳島銀行と旧大正銀行の実績を合算し、徳島大正銀行の実績として算出しています。